

岐阜県立東濃実業高等学校

学 校 長 亀山 芳久

学校住所 可児郡御嵩町伏見 8 9 1 電話 0574-67-0504

- 1 会議の名称 平成22年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成 評議員 野中三津夫 元本校PTA会長 (地域住民代表)
神田 久嗣 (株)加藤製作所 (企業関係)
西田由美子 (株)豊和機工 (地域住民代表)
伊藤 和子 国際ソロプチミスト可児会員 (地域住民代表)
奥村千恵子 御嵩町青少年育成推進委員 (地域住民代表)

学校側	亀山 芳久	校長
	谷貝 眞	教頭
	花田 耕司	教頭
	宮西 武彦	事務長
	水野 圭三	教諭 (教務主任)
	渡辺 俊樹	教諭 (生徒指導主事)
	渡辺 克人	教諭 (進路指導主事)
	相川 長徳	教諭 (商業科主任)
	林 智子	教諭 (生活文化科主任)

- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成22年 6月 14日(月) 午後2時30分～午後4時
委員5名と学校側9人が出席
- 5 会議の概要

(1) 平成22年度指導の重点等について

- ①教育の重点について
- ②学習指導について
- ③生徒指導について
- ④進路指導について
- ⑤専門教育について

意見 1 基本方針（マニフェスト）をきちんと立てて、それに基づき職員が一丸となって指導に当たられていると感じる。生徒の問題行動もほとんど無く、本来の高校生らしい良い方向に向かっていると思う。

意見 2 職業には様々なものがある。就職が難しい時代、我々のあまり知らない種類の職業も積極的に発掘し、生徒に紹介する事も必要ではないか。

意見 3 基本的な生活習慣は本来家庭で教えるべきだが、最近では家庭がその機能を果たしていないことが多い。それぞれの家庭環境に対応し、学校と家庭で協力して指導をすすめていく必要がある。

意見 4 東濃実業は挨拶ができる生徒が多いと感じる。道を歩いていても元気に声をかけてもらえる。これからも心からの挨拶ができるような生徒を育ててほしい。

意見 5 団塊の世代の退職に伴いCOBOL言語の分かる人材が不足するのではないか。

意見 6 現在の経済状況ではなかなか新規に人材を募集することができない。就職の指導はなかなか大変な時代になっている。

意見 7 東濃実業の生徒の活躍が新聞でよく掲載されている。部活動だけでなく様々なイベントにもボランティアで参加して頂き大変助かっている。短いスカートも無く、高校生らしい清楚な姿でとても良い印象を受ける。

6 会議のまとめ

- ・配布資料
 - ・ 本年度の各分掌の指導の方針と重点
 - ・ 生活文化科の4類型紹介冊子
 - ・ 学校要覧

- ・司 会 谷貝 眞 教頭
- ・記 録 花田 耕司 教頭

- (1) 学校長挨拶
 - 「結い」の精神
 - 授業をおろそかにしない
 - 組織の一員として協力する
 - よりよい学校は自らの手で造り上げる
 - 部活動の活性化・集団活動から学ぶ人間関係づくり
- (2) 学校評議員の委嘱
- (3) 自己紹介
- (4) 平成22年度の本校教育の重点
- (5) 意見交換
- (6) 連絡事項
 - ・ 次回開催日 11月上旬（予定）
- (7) 閉会のことば